

# 北陽だより

第7号 令和3年11月1日

埼玉県立大宮北特別支援学校 さいたま市西区中釘後谷2290-1

TEL 048 (622) 7111 <http://www.kitayou-sh.spec.ed.jp>



## ICTの活用と特別支援学校 (Utilization of ICT and special needs school)

校長 山口 伸一郎 (Principal, Yamaguchi)

ある日、小学部のある学級を観に行きました。児童の皆さんは給食の配膳を待っているところでした。何人かの児童はタブレットで教育用ゲームをやっていました。みんな、自分でタブレットを操作していました。一人の児童は音声入力を試みていました。彼の発語は少し不明瞭だったので、はじめのうち、タブレットはうまく作動しませんでした。しかし、彼は何度も何度も挑戦しました。そして、ついに彼は音声入力でタブレットを操作することができたのです。

One day, I went to see one elementary school class. There were some students waiting for Lunch. Some of them were playing an educational game on their tablets. They could operate the tablet zationthemselves. And one student tried to operate by voice input. His pronunciation was unclear, so his tablet didn't work well in the beginning. But he challenged again and again. Finally, he could get it up and running by voice input.

わたしはそれを見て、とても感銘を受けました。彼には挑戦する気持ちとねばり強さがあります。そして、彼はすでにタブレットの操作について多くのスキルを持っています。彼はまだそれをあまり教わってはいません。でも、挑戦し、タブレットが操作できたのです。彼らは「デジタル・ネイティブ」です。すでに、ICTに関わるたくさんしたことやスキルを知っています。

I was so impressed to see it. He had a challenging mind and toughness. And he already had many skills of operation a tablet. He wasn't taught that yet. But he challenged and could operate a tablet. They are "Digital Natives". They already know many things and skills of ICT.

かつて、私は、特別支援学校の児童生徒たちにICTのスキルは必ずしも必須ではないだろうと考えていました。彼らは具体的な経験や実際の生活から学ぶべきだと考えていたのです。しかし、私の古い考えはまちがいでした。彼らにこそ、ICTのスキルやリテラシーが必要です。私たちはそれを教えなければなりません。AI技術の進展やDX（デジタル・トランスフォーメーション）から、彼らを取り残してはいけません。

Once, I thought that ICT skills were not always necessary for students of special needs school. They should learn from concrete experience and real life. But my old thought was wrong. They really need ICT skills and literacy. We have to teach that. Don't leave them out of the evolution of AI and DX (Digital Transformation).

## 小学部3年生「はらぺこあおむし～北陽祭作品づくり～」

「小低の最高学年ということ意識して、北陽祭の取り組みを進めたい。」という想いがありました。今まで経験し積み上げてきた力を、どのように発表したら良いか…。

子ども達から絶大な人気を誇る絵本「はらぺこあおむし」を取り上げることにしました。

ストーリーにのせて、体育「表現」で行った動きを織り交ぜたり、運動会で使用した大道具をリメイクし登場させたり、皆が好きなパネルやバルーンも取り入れたりしました。最後きれいな蝶になり、その姿を披露するファッションショーでフィナーレです。

3年生教室廊下には、大きな大きな蝶が飾られています。そちらも子ども達の力作です。御来校の際には、ぜひご覧ください。



## 中学部2年生 北陽祭

中学部では、10月28日(木)・29日(金)に開催された北陽祭でダンス発表に取り組みました。当日はビデオで事前に撮影したものを学校全体で視聴する形となりましたが、鳴子を両手に持って楽曲に合わせてよさこいを踊りました。曲の盛り上がりに合わせて大きく動いたり、覚えている歌詞を口ずさんだりしながら、ひとりひとり楽しんで練習をしていました。また、発表のために生徒たちはタイダイ技法でTシャツを染めました。青と黄の染料を用いて、渦巻模様や波のような模様、まだら模様など個性豊かな味わいのあるシャツを完成させました。タブレットでの撮影は緊張感がありつつも、自分にレンズが向いていることが分かれると笑顔になって、構えのポーズから集中してよさこい踊りを楽しんでいました。



## 高等部

先日、北陽祭が行われました。感染対策を講じながら、2年ぶりに開催された北陽祭。今回は全校で校内向けに制作したビデオから高等部としての内容を紹介します。

高1では、東京五輪2020で話題になった「ピクトグラム」に焦点を当て、50個の中から各学級で表現する種目を1つ選びました。1組「フェンシング」2組「マラソンスイミング」3組「野球」4組「サッカー」5・6組「陸上」です。重複は風船を使って最高の応援団になりました。五輪・パラリンピックから得たたくさんの勇気と感動を、自分たちの力にして前へ進もうという気持ちを込めた作品に仕上がりました。

高2では、音楽で取り組んでいる「にじ」を合唱及び合奏、手話等の様々な表現方法で制作しました。心のもった映像が出来上がりました。生徒達も迫真の演技で撮影に臨みました。

高3では、美術の授業で制作した「自画像」と「ポートレート・ペイント」を中心に映像作品を制作しました。これらは北陽祭当日に展示しました。学校生活最後の生徒達の姿を記した作品と展示に仕上げることができました。